

飛翔

Hamamatsu
Enoshima
High school

Vol.90

The month of issue 2024.12

News

御挨拶

PTA副会長 戸塚由季子

令和6年度よりPTA副会長を務めさせていただきます、戸塚と申します。本年度、長男が入学しました。私自身も本校の卒業生です。親子共にお世話になっている、この浜松江之島高校に再び携わり、何より子ども達の高校生活をより近くで見ることが出来るという貴重な機会を頂いたことをとても嬉しく感じています。自身の高校生活では、吹奏楽部での活動に没頭し、好きな音楽と共に仲間と目標に向かって追求する努力を学んだ事は、今でも情景とともに鮮明に残っています。

今年度創立40周年を迎え、制服のデザインを一新する新たな

節目となりました。行事では文化祭、体育大会での伸び伸びとした雰囲気、楽しそうな笑顔。一生懸命な一人一人の姿がとても印象的で、子供たちは主役!という事を改めて感じました。

高校3年間は本当にあつという間です。学校と保護者の皆様の連携のもと、子供たちに寄り添いながら成長を助けていけたらと思います。



御挨拶

命を守る

副校長 越智敦子

8月7日の夕方、車のラジオが急に地震速報に切り替わる。「日向灘で大きな地震が発生。」校外にいたため、急ぎ自宅に戻りテレビのスイッチを入れる。車に積んであった危機管理マニュアルをめくりながら、ニュースを見守る。テレビ画面には「臨時情報調査中」の大きな文字。18時過ぎ、教頭から「残留生徒なし」の報告を受ける。19時過ぎ、「巨大地震注意」の政府発表。「ああ!ついに来たか!!」という気分。ニュースを聞きながら、危機管理マニュアルを一つ一つ確認する。マニュアルによると、管理職と応急対策要員職員は、浜松東高校に参集することになっている。その後、管理職間でやりとりし、緊急参集は不要、翌日の生徒登校禁止、職員は基本自宅待機、という結論に達する。20時過ぎ、メール配信送信。

東海地方に巨大地震が起こる、と言われ続けて40年以上が経過しました。頭では分かっていることでも、「まさに今!」というタイミングに直面した時、やるべきことを冷静にやり遂げることが如何に困難か、ということを実感した出来事でした。

全校生徒と職員の約600名が、巨大地震から命を守るためにはどう行動していけばいいのか、危機管理についてしっかりと再確認をしていかねばと感じています。

今後とも、保護者の皆様の御支援をよろしくお願いいたします。



交通安全教室

10月18日(金)、本校にて、静岡県トラック協会主催のスクエアストレイト方式の交通安全教室が開催されました。

生徒たちは、スタントマンによる実際の交通事故の再現や、違反により引き起こる交通事故を目の前で見ることにより、交通事故の恐ろしさを実感した様子でした。

11月1日より自転車の道路交通法が改正されました。大切な自分の命や相手の命を守るため、これからも交通ルールやマナーを守って自転車を利用しましょう。



学年より

1年

「価値観を見つめる」

1学年主任 牧野 豊

今年度の1年生は、飛翔タイムのライフキャリア探究の中で、自身の価値観を見つめることをテーマとして学習に取り組んでいます。現代社会は、テクノロジーの進化によって未来が予測不可能となったVUCA—Volatility(変動性)・Uncertainty(不確実性)・Complexity(複雑性)・Ambiguity(曖昧性)—の時代と呼ばれています。この道を歩めば幸せになれるという明確な正解がない時代です。

一方で、2007年に生まれた子供の半分は107歳まで生きると国連の調査で予想



されているように、高校生はこれから先の長い人生を歩んでいかなければなりません。それぞれが「何を大切に生きていくのか」という問いに正面から向きあうことが求められていると言えます。言い換えれば、自分の価値観を大切にすること、他者の価値観を認めること、そして他者との関わりの中で、自分の価値観を更新していくことが重要だということです。

特に1年次は、労働に関わる価値観を見つめる機会として、ジョブウォッチングに出かけました。それぞれが自分の人生をどのように生きていくのか考えるきっかけになっていることを願います。



2年

学びの環境

2学年主任 鈴置 兼隆

2年生は、11月5日から11月8日まで、修学旅行で長崎、福岡を訪れました。

1日目は、平和学習に取り組みました。原爆資料館や平和講話での学びを通して、平和のありがたさ、大切さを実感することができました。2日目および4日目に、班別研修を行いました。生徒は主体的に研修内容についての計画を立て、集団行動のルールを守りながら、安全に学習に取り組みました。長崎や福岡で自分たちが決めた場所を探し、訪れ、学んできました。



昨年度、新型コロナウイルス感染症対策についての基準が変更されました。中学生の頃、感染症対策のため多くの制限があり、その中で、できることを探す学びを行ってきました。今はその制限が減り、できることが増えたことで、何をすればよいか戸惑うことも多かったと思います。修学旅行の班別研修においても、行きたいところ、行けるところが多い中で、何を目標とし、どのような学びを選択するか、考えながら計画を立てていました。

2年生の学年目標は、「人の話をしっかり聞く ～傾聴から実践～」です。充実した学びができる今の環境に感謝し、たくさんの「実践」を行い、より良い自分に成長できることを願っています。



3年

『諦めなければ夢は叶う…?』

3学年主任 野田 航洋

私は現実主義者なので、『諦めなければ夢は叶う』や『努力は絶対報われる』といった類の言葉が好きではありません。ただし、生徒の皆さんより少しだけ長く生きてきて感じていることがあります。それは『諦めなければ夢は続く』ということです。たしかに「期間限定の夢」も数多く存在します。たとえば部活動の結果など、自分なりに努力した



けれど、目標を達成できなかったという人がほとんどではないでしょうか。そうです。そんな簡単に夢は叶いませんし、どんなに努力したって報われるとは限りません。しかし、叶うかどうかは別として夢を追うことは誰にでも、そしていつまでも可能です。たとえ夢

がついてしまっても、また次の夢に向かって力強く歩み始めることができる人間になってください。夢を追い続ける人は魅力的でキラキラ(ギラギラ)と輝いています。また、江之島高校の皆さんには夢を追いかける人を応援できる人間にもなっ



てほしいと思います。3年生の皆さん、残り少ない高校生活は卒業後に進む道に向けた助走期間として、人としての真価が問われる時期となります。社会人として必要な力を身につけ、高く高く羽ばたいていくことを期待しています。



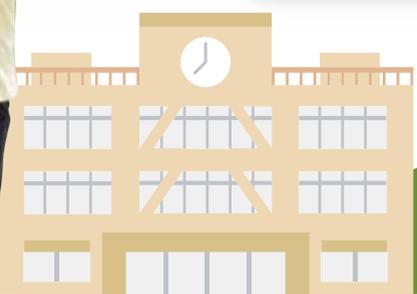
令和6年度 体育大会



👑 優勝クラス……32HR

各種目の1位

男子100m	3416	鈴木飛龍
女子100m	3203	石川真帆
男子1500m	2333	水野智道
女子1000m	1213	城戸ゆきな
男子HR対抗リレー	23HR	
女子HR対抗リレー	22HR	
男女混合リレー	12HR	
長縄	35HR	
綱引き	32HR	



生徒の活躍

ふじのくに芸術祭 2024 美術展



準奨励賞
芸術科3年 木下ミライ 「父下半顔」

第72回 静岡県高等学校美術・工芸展



静岡県高等学校文化連盟会長賞
芸術科2年 浅野楓人 「憤懣」
※令和7年度 全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門に出品予定



静岡県高等学校美術・工芸教育研究会優良賞
芸術科2年 吉田遼永 「自画像」



静岡県高等学校美術・工芸教育研究会優良賞
芸術科1年 岡西菫 「Objet」



静岡県高等学校美術・工芸教育研究会優良賞
芸術科1年 田口果奈 「素直」



特選
芸術科2年 古橋実春 「夜景」

